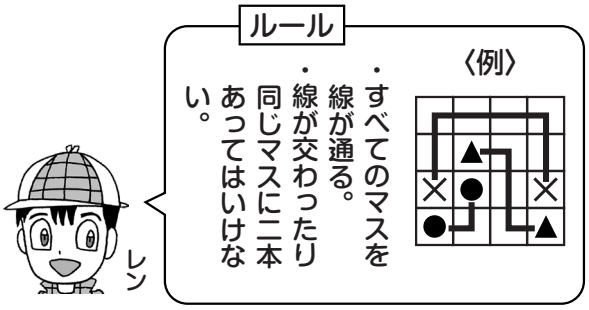
答え

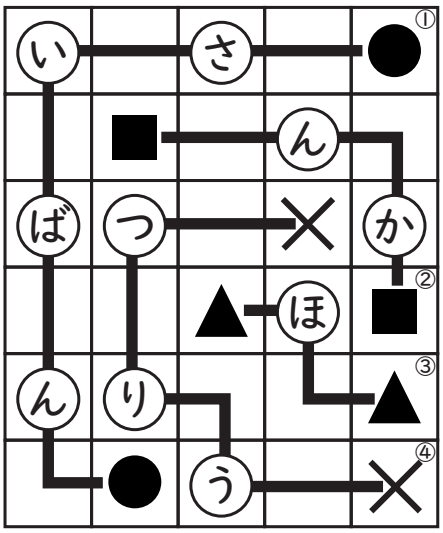
6年 国語 話し合いの進め方

6年　組

名前

1 例のように、同じマークどうしを線でつなぎましょう。線はななめには引けません。マークの間の文字を①から順に読んで、二字熟語（じゅく）と二字熟語にして、漢字で□に書きましょう。



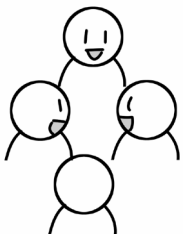


裁判官

法律

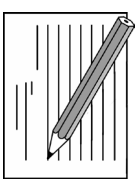
2 話し合いの進め方の例です。どういう順番に進めるとよいですか。（　）に①～⑤の順番を書きましょう。

（③）出た意見を整理する。
（⑤）必要に応じて、さらに話し合い、最終的な結論（ろん）を出す。
（①）一人ずつ意見を出し合う。
（④）目的と条件に合わせて話し合い、仮の結論を出す。
（②）たがいに質問し合い、疑問（ぎ）点などを明らかにする。



3 話し言葉に当てはまる内容には①、書き言葉に当てはまる内容には②を㋐～㋕の（　）に書きましょう。

㋐ 音声で表す。（①）
㋑ その場に相手がいる。（①）
㋒ 共通語で書く。（②）
㋓ すぐに消えてしまう。（①）
㋔ 文字で表す。（②）
㋕ 実物を示せる。（①）
㋖ 後から何度も確かめられる。（②）
㋗ 言いまちがいをすぐ直せる。（①）
㋘ かなや漢字を使い理解しやすい。（②）
㋙ 誤解（ご）を与えない語順や構成にする。（②）





4 伝えにくいことを伝えるときについて、①～③の（　）に当てはまる言葉を□から選んで書きましょう。

① 相手に正確に（伝わり）、また冷静に（受け止め）てもらえるように話す。
② （表現）や口調に注意して、（事実）を説明し、自分の（考え）を述べる。
③ （相手）の主張を聞き、話し合う。





表現・伝わり・考え・受け止め・相手・事実

小学館「みんなの教育技術」（https://kyoiku.sho.jp/）　イラスト／嵩瀬ひろし